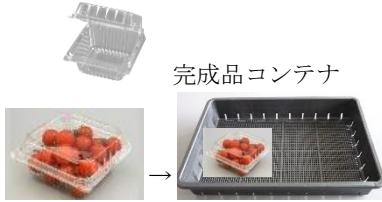
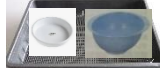


令和6年度青森県特別支援学校技能検定・発表会
「農業分野」【選果調整】指導マニュアル
(制限時間12分)

作業項目	イメージ	作業内容	評価内容(★)・指導上の留意点
1 開始	 審査員の「では始めてください。」で開始する。	審査員の呼名に対して「はい。」と返事をしてスタートラインに立ち、「□番○○学校、△△(氏名)です。始めます。」と言って一礼し、入室する。	★①スタートラインで開始を伝えることができたか。 ・衛生的な服装で受検する。 ・審査員に伝わるように開始を伝える。話すことが難しい場合などは、必ず合理的配慮の申請をする。 ・手洗いは事前に行う。 ・マスクを着用する。マスクを着用できない場合は、必ず合理的配慮の申請をする。 ・開始を伝えた時か、開始を伝えられなかった場合はスタートラインを越えた時から計測を開始する。 ※計測開始
2 作業準備	 作業準備: キャップ、かみ、消毒液、手袋、ティッシュ	・身だしなみを整える。	・衛生面の観点から②③④の順で行う。 ★②キャップの装着ができたか。 ・耳まで被り、髪の毛を全て覆う。 ★③手指の消毒ができたか。 ★④手袋の着用ができたか。 ・キャップや手袋を床に落とした場合は、所定のごみ箱に捨て、新しいものと取り換える。 ★⑤順番どおりに準備できたか。
3 ミニトマト (1)選果	ミニトマト(丸中玉) 除外品の選別(①緑・②黄・③ヘタ無し、④細長) 良品→  除外品→ 	選果 ・商品コンテナから除外品4種類を選別し、除外品コンテナへ入れる。	★⑥除外品を選別することができたか。 ・商品コンテナには、良品250gと緑1個、黄・橙1個、ヘタ無し1個、細長1個が入っている。除外品以外を除外した場合は不可とする。また、検定中にヘタが取れたものも除外品とする。 ・作業中に床へ落としたミニトマトは除外品コンテナへ入れ、手袋を消毒し、作業を続ける(テーブル上は良品に戻してよい)。
(2)計量	200g 	・商品コンテナから受け皿に200～210gで計量をする。	★⑦受け皿をセットし、ゼロ設定ができたか。 ★⑧計量ができたか。(200～210g)
(3)パック詰め	 完成品コンテナ	パック詰め ・計量したミニトマトを1個ずつパックに詰める。 ・完成品を完成品コンテナへ入れる。	★⑨丁寧にパック詰めができたか。 ・計量したミニトマトを全てパックに詰める。蓋が完全に閉まっていない場合は不可とする。 ・ヘタの向きは問わない。 ・パック詰めの途中でヘタが取れた場合等は、対象のミニトマトは除外品コンテナに入れ、再度計量を行う。良品を追加しただけで計量を行わずにパック詰めした場合には、⑧を不可とする。 ・作業中に床に落としたり汚れたりしたパックは道具入れに入れ、手袋を消毒し、作業を続ける。 ★⑩完成品コンテナへ入れることができたか。

(4) 片付け	 → 定位置 良品 →  除外品 →  → 	・利用した物品を指定位置に戻す。	★⑪除外品の片付けができたか。 ★⑫良品の片付けができたか。 ・除外品コンテナと良品コンテナの位置は問わない。両コンテナがミニトマトのコンテナに収まっていればよい。 ★⑬受け皿の片付けができたか。
4 ジャがいも (1) 選果	ジャがいも (男爵) 除外品の選別 (①芽、②緑皮、③キズ) 良品 →  除外品 → 	選果 ・商品コンテナから除外品3種類を選別し、除外品コンテナへ入れる。	★⑭除外品を選別することができたか。 ・商品コンテナには、良品 1,300g と芽が完全に出たもの1個、皮が緑のもの1個、キズがあるもの1個が入っている。除外品以外を除外した場合は不可とする。 ・作業中に床へ落としたジャがいもは除外品コンテナへ入れ、手袋を消毒し、作業を続ける (テーブル上は良品に戻してよい)。
(2) 計量	1,000g 	・商品コンテナからボウルに1,000～1,100gで計量をする。	★⑮ボウルをセットし、ゼロ設定ができたか。 ★⑯計量ができたか (1,000～1,100g)
(3) 袋詰め、バックシーラー	計量後の商品を袋に入れる。   完成品コンテナ  ⇒ 	・袋詰め ・バックシーラーで袋を閉じる。 ・完成品を完成品コンテナへ入れる。	★⑰袋に詰めることができたか。 ★⑱バックシーラーをかけることができたか。 ★⑲完成品コンテナへ入れることができたか。 ・隙間の無いように絞って、バックシーラーをかける (多少の隙間はよい)。 ・バックシーラーのやり直しは可とする。 ・作業中に床に落としたり汚れたりした袋は道具入れに入れ、手袋を消毒し、作業を続ける。
(4) 片付け	  → 定位置 良品 →  除外品 →  → 	・利用した物品を指定の位置に戻す。	★⑳除外品の片付けができたか。 ★㉑良品の片付けができたか。 ・除外品コンテナと良品コンテナの位置は問わない。両コンテナがジャがいものコンテナに収まっていればよい。 ★㉒ボウルの片付けができたか。
5 終了準備	キャップ ウエットティッシュ ↓  手袋 ↓ 	・ウェットティッシュで作業台を拭く。 ・手袋用、キャップ・ウェットティッシュ用に区別して捨てる。	★㉓ウェットティッシュで作業台を拭くことができたか。 ・作業台のはかり (赤いライン) より左側を拭き残しが無いように拭く (縦拭き、横拭きは問わない)。ウェットティッシュは複数枚使用してもよい。 ・はかりは動かさない (故障・破損防止のため)。 ★㉔手袋、キャップ、ウェットティッシュを所定の容器に捨てることができたか。

(第14号様式) 農業分野 (選果調整) 指導マニュアル

6 終了		スタートラインに立ち、姿勢を正す。	・ 所定の場所に立つ。 「終わりました。」 と言って終了を伝える。	★②⑤スタートラインで終わりの報告ができたか。 ・ 審査員に伝わるように報告をする。話すことが難しい場合などは、必ず合理的配慮の申請をする。 ・ 終わりの報告を伝えた時か、報告がない場合はスタートラインを越えた時に計測を終了する。 ※計測終了 ★②⑥時間内に終了することができたか。
------	---	-------------------	---	--

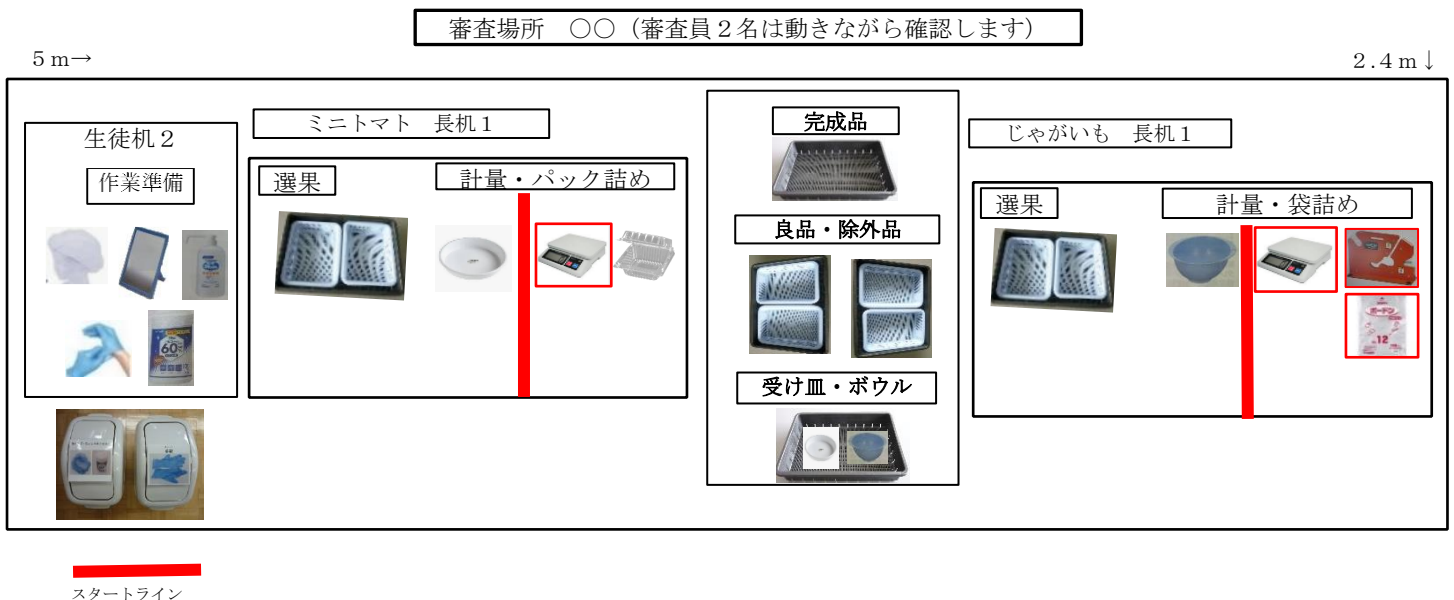
※困ったときに、挙手や声掛けで係員を呼ぶことができる。ただし、係員は次の工程を教えることはしない。

※12分経過した時点で検定終了とする。以降の評価内容(★)は不可として扱う。

※待機中は他生徒の検定が見える位置で待機する。他生徒の検定を見ることで影響がある場合は検定場所に背を向けて座ることも可能とする。その場合、必ず合理的配慮の申請をすること。

※各自の待機時間を短くするため、次者の準備が出来次第、時間を空けずに進行する。そのため、タイムテーブルの時間よりも早くなることもある。

【会場図】



受検者待機場所

椅子 5 ○○○○○

審査員席 ○○